

ある、只今町出隊長の純粋の如く理解で感化してはいけな
い、産業協力の爲十年不拔の大團體の力により若々の競争推
進を願ふ。

組合會 九州地方協調會前編隊 原 達

純島武士の聖書教典とも言ふ可き書物の中に武士道とは士を
を教見することた、士を教見する事は先づ自己を修む可しと
言いてある何時も汚れなき用意が必用た、この我國武士道の
精華を若々の運動に應用して教服せしめなければならぬ。頑
かなる資本家を膺感する事か組合の使命であるか自己の生括
に無反省ではいけない、人格者となり不正と闘ふ事だ諸君か
この精神を對社會に示された事を感謝す、堂々九條の旗を押し
進めよ。

8、資怡審査報告

古川 三次 郎

製綱小倉支部 五八名(内女一〇名) セメント門司支部 二〇名

小倉仰仁労働組合 二名 日本石灰坑天社合 六名

小倉職業社 七名 戸畑分會 五名

無綫分會 六名 右洲労働西戸輪支部 五名

福岡松屋社 二名 九條區屬 九名

代議員計一二〇名 外に本部員一〇名

9、歡迎の辭 瀬戸 隆 清

10、答 辭 宮崎 太郎

11、一般報告 主筆 久 保 隆 道

別冊 議案参考照

○質問 セメント門司支部 河野 竹 次

○答 辭 協調會が脱退するとか、したとか聞くか説明を願ひ度い